

令和 8 年度精神障がい者訪問看護研修プログラム

1. 目的
 - 1) 地域で暮らす精神障がい者と信頼関係を築き、医療の継続支援や病状に対する早期対応などを含め、精神科訪問看護に必要な知識・技術を習得する
 - 2) 精神科訪問看護が取り巻く現状を理解し、自分自身の課題や精神科訪問看護の魅力を見つめなおし新たな視点を身につけることができる
2. 対象 精神科訪問看護に従事する保健師、看護師、准看護師又は作業療法士
あるいは、精神科訪問看護に従事する予定の保健師、看護師、准看護師又は作業療法士
3. プログラム ※プログラムは諸事情により変更することがあります。

	日 時	研修内容	講 師
1日目 10/8 (木)	9 時 45 分～	受付開始	徳島県看護協会 徳島県訪問看護支援センター担当
	10 時 15 分～	開講式 オリエンテーション	
	10 時 30 分～ 12 時 00 分	精神保健福祉の現状と動向 精神科訪問看護の動向と最新知識 徳島県における精神保健福祉の状況 精神科訪問看護における多職種・多機関との連携	徳島県東部保健福祉局 (徳島保健所) こころの健康担当 岩田 美枝
	13 時 00 分～ 16 時 00 分	精神疾患・精神障がい者の理解 統合失調症、気分障害、パーソナリティ障害、アルコール依存症、認知症等の症状など精神疾患における薬物療法 向精神病薬の作用と副作用、服薬管理の留意点	岩城クリニック 理事長 兼田 康宏
2日目 10/9 (金)	9 時 00 分～ 10 時 50 分	精神科訪問看護の実際① 精神科に必要なフィジカルアセスメント、医療継続の支援 病状悪化の早期発見・危機介入 精神科訪問看護に係る報酬	訪問看護ステーションそわか管理者 岡本 訓代
	11 時 00 分～ 12 時 10 分	自殺、依存症、ひきこもりについて 精神障がい者が利用できる制度・社会資源の理解	徳島県精神保健福祉センター課長補佐 紀川 功充
	13 時 00 分～ 16 時 50 分	基本的な精神看護の理解、精神科看護の基本姿勢 信頼関係の構築、コミュニケーション技術 リカバリー・ストレングスを活用した支援 GAF の概要、精神科訪問看護基本療養費の算定に GAF 尺度の判定が必要になった経緯、評価のポイント、評価時の留意点	徳島大学大学院医歯薬学研究部 准教授 千葉 進一
	【公開講座】		
3日目 10/22 (木)	10 時 00 分～ 11 時 50 分	精神科訪問看護の実際② 日常生活支援(QOL向上に向けた支援・援助等)、訪問看護活動の特徴、訪問看護時の留意点(病状の観察、病状悪化時の対応、服薬確認、環境整備等)	訪問看護ステーション慈門管理者 岩佐 久美
	12 時 50 分～ 15 時 30 分	精神科訪問看護における社会資源や制度活用の実際、多職種の役割の理解、多職種協働による体制づくり、精神障がい者を介護する家族の支援	徳島県精神保健福祉士協会 会長 黒下 良一
4日目 10/30 (金)	9 時 40 分～ 12 時 00 分	精神科リハビリテーションの実際 精神科リハビリテーションを取り巻く状況、代表的な技法、社会活動参加への支援、多職種の役割の理解と連携	訪問看護ステーションれんげ草 作業療法士 飯坂 浩之
	13 時 00 分～ 16 時 50 分	事例検討会 グループワーク スーパーバイザーからのコメント 学習内容の振り返り	徳島大学大学院医歯薬学研究部 准教授 千葉 進一 訪問看護ステーション慈門管理者 岩佐 久美
	研修終了後 16 時 50 分～	修了式	徳島県看護協会 徳島県訪問看護支援センター担当

※ 精神科訪問看護基本療養費の届出要件を満たす研修

※ ※本研修を全受講された方に修了証書を発行いたします